

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	－	－
(近畿)	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・3月の購入予約は結構入っているため、緊急事態宣言が解除されればもちろん良くなる。
	○	百貨店（売場主任）	・緊急事態宣言の発令で確実に来客数が減少しているため、解除後には増加傾向に戻ると考えている。
	○	百貨店（外商担当）	・2～3か月後には、新型コロナウイルスのワクチンが日本に入荷し始めると予想されるため、客の購買心理も徐々に上向いてくる。
	○	百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスの影響が大きく出ること避けられない。感染が1年以上続くなか、感染第3波では自粛要請の効果が無いように、開放感を求める傾向が高まると予想される。ただし、新型コロナウイルスのワクチン接種への期待や、冬から季節が変わることでの感染状況の好転も期待できる。身近な楽しみを求める傾向が強まることに期待し、開放感や気分の一掃をキーワードに展開したいと考えている。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の見通しや、感染拡大の収束の兆しなどにより、消費マインドの改善が期待できる。
	○	百貨店（特選品担当）	・先行き不透明というのが正直なところであるが、気温が暖かくなれば、緊急事態宣言下の今よりも少しは良くなる。
	○	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスのワクチンにつき、高齢者への接種が始まれば、感染収束に向けた動きと捉え、若干ながらも自粛の動きが弱まると予想される。ただし、移動距離が伸びるなどの動きは当面先とみられ、個別業界内での消費の積み増しに限られる。
	○	スーパー（店員）	・創業祭などのイベントが続くため、売上の増加が期待できる。また、新型コロナウイルスの感染も収まり、行動範囲が広がることで、来客数が増える予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・今が底の状態であり、緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まれば、少しは来客数が増えることが期待できる。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、少しずつ人の動きが改善し、少し購入意欲が湧いてくると感じる。
	○	家電量販店（店員）	・緊急事態宣言が解除になれば、更に来客数が増えるように感じる。客は規制から解放されれば、ステイホームのストレスが買物への意欲に変わり、販売が増える予想される。
	○	家電量販店（企画担当）	・新生活需要と新型コロナウイルス禍での新しい生活様式にあわせ、巣籠り需要やテレワークの推奨商品にポイントを加算し、グリーンポイント制度も追加する。経済のプラスになるように、購入を検討してもらえることを期待している。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・購買意欲の高い客が多いと感じる。今後は第1四半期の決算月に向けて、客の動きも活発になると予想される。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・これ以上悪くなることはない。
	○	高級レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染第3波の収束や、Go To Travelキャンペーンの再開によるプラスの影響が期待される。
	○	都市型ホテル（総務担当）	・緊急事態宣言期間が2月7日で終了するかどうか分からないが、新型コロナウイルスの新規感染者数は若干減少しており、3～4月には今よりも客が増えることを期待している。
○	都市型ホテル（フロント）	・新型コロナウイルスのワクチン接種によって新規感染者数が減少傾向となり、出張者や旅行者も少し増えると予想している。	
○	タクシー運転手	・2月末から医療従事者を対象に、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、どのような展開になるのかは、はっきり分からない。期待としては、ワクチン接種後は感染しないという情報が広がれば、景気の押し上げもあり得ると期待したい。	
○	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響は、地域における消費のトレンドも大きく変えた。買物や行政手続き、銀行取引など、Webで済ませられるものは、リアルからシフトしていくという変化の兆しがみられる。	

○	通信会社（企画担当）	・緊急事態宣言につき、アミューズメント施設は最悪の状況である。今後、緊急事態宣言が解除されれば、改善に向かう見込みである。
○	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・緊急事態宣言がいずれ解除され、新型コロナウイルスのワクチンの投与が始まれば、幾分は落ち着くと予想される。ただし、経済の実態よりも高めの株価が崩れれば、またマインドが下降するほか、東京オリンピックの中止なども心配である。
○	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・不動産の購入に際し、新型コロナウイルスによる生活スタイルの変化がきっかけとなりつつあり、まだ裾野が広がる可能性がある。ただし、購入できるケースとできないケースで二極化し始めており、先行きの不透明感はある。
□	商店街（代表者）	・しばらくは平常に戻らないと考えている店が大半である。
□	一般小売店〔花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くか、先が見通せない状態のため、景気回復の見込みは薄い。
□	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・緊急事態宣言が延長する見込みであるため、現状から変化することはない。
□	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・2月も引き続き、緊急事態宣言の影響で期待できない。1日も早い新型コロナウイルスの感染収束を待つしかない。
□	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染拡大が、春先には若干沈静化すると予想される。ただし、1～2月の売上の一層の厳しさは想定外であり、業種によっては企業の体力が更に奪われる。それに伴い、仮に感染拡大が沈静化しても、企業の雇用情勢の悪化が予想される。一般消費者も積極的に消費するとは考えにくく、回復するまでには、ある程度の時間が掛かる。
□	百貨店（企画担当）	・2月7日までの期限で発出されている、緊急事態宣言が延長される可能性があり、先行き不透明な状況がしばらくは続く。新型コロナウイルスによる影響は、全ての国民へのワクチン接種が完了するまでは、好転することはないと感じる。
□	百貨店（服飾品担当）	・徐々に新型コロナウイルスの感染者数が減ることで、少しずつ回復傾向に入ると予想されるものの、厳しい状況は続く。冬から春に掛けての商戦は、大きなモチベーション需要に支えられている部分が多い。今年は卒業や卒園、入学、入社に伴う需要が確実に減少するため、衣料品などの買換え需要は伸びないと予想される。一方、バレンタイン商戦など、自家需要にウエイトを置いた商戦には期待できるほか、高級ブランド関連も好調が続くそうである。
□	百貨店（サービス担当）	・来月以降も緊急事態宣言が継続される可能性が高く、来客数の増加は見込めないが、百貨店に対する需要は変わらない。
□	百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったとしても、当面は積極的な集客策を実施できない。イベントや宣伝などの経費を削減し、デジタルトランスフォーメーション分野への投資を拡充していかなければならない。
□	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、感染者数が減少するまでは変わらない。感染者数が少なくなった時点で、以前のようなGo Toキャンペーンを導入という流れができれば、サービス関連も少し良くなると予想される。
□	百貨店（商品担当）	・世界各国で始まったワクチン接種や感染対策の徹底により、新型コロナウイルスの感染が沈静化に向かえば、消費マインドは大きく改善する。ただし、経済が立ち直るまでには少々時間が掛かると予想される。効果的な感染予防策の定着によるインバウンドの復活や、東京オリンピックの開催の実現も景気浮揚の大きなポイントとなりそうである。
□	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる国からの情報で、国内客の心理に大きな影響が及ぶ。国内での接種のスケジュールが不透明ななか、あと1か月は小康状態が続き、当面は大きな改善には至らないと予想される。
□	百貨店（マネージャー）	・先行きがみえないなか、売上が拡大するには来客数が増えることが必要となるが、買物に対するモチベーションは低いままとなる見込みである。リベンジ消費が顕在化するのには、新型コロナウイルスのワクチン接種が完了し、国民に安心感が戻る夏以降と予測している。
□	百貨店（売場マネージャー）	・緊急事態宣言は2月7日までとなっているが、延長の可能性はある。また、当社も30分の時短営業を行っており、今後も継続する予定である。

<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種には、まだ時間が掛かりそうであるほか、変異したウイルスの感染が広がりそうである。感染者数に歯止めが掛からず、悪い状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・3～4月は新型コロナウイルスのワクチン接種が一部で始まる程度と予想され、ファミリー層の不安はまだ解消されない。テレワークや時短などで働き方も大きく変わっているため、前年のような異常値にはならないものの、例年に比べると家庭での内食需要は堅調に推移しそうである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・前年の2月頃から新型コロナウイルスの影響が出始めたため、前年比では、これまでのような大きな伸びは見込めない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・今後は新型コロナウイルスのワクチンの効果次第であるが、今が景気の底と考えられる。現状は業種による明暗がはっきりと分かれており、これから迎える決算期が正念場となる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・天気が良くて暖かい日は、新型コロナウイルスに関係なく、来客数が割と多い。状況は余り変わらないと感じる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。新型コロナウイルスのワクチン接種のタイミングで変化する可能性もあるが、来客数が急に増えることはない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの悪影響が続くような気がする。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか、見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・旅行客がいないため、来客数は余り変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルス禍で、客の気持ちも下向きとなっているため、購買意欲が上がらず、横ばいの状態が続く。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルス禍が3か月で落ち着くことはなく、消費意欲がアップすることは考えにくいいため、景気は停滞すると予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・1月は1週間ごとに来客数の傾向が変わり、全く読めないほか、今後改善する兆しもない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・緊急事態宣言の延長が報じられていることもあり、当面好転することはない。前回の緊急事態宣言時にはマイカーの需要が増えたというデータもあったが、テレワークの推進もあり、需要の回復には時間が掛かりそうである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [医薬品]（経営者）	・新型コロナウイルスに振り回されている。今後は緊急事態宣言後の感染者数の推移で状況が変わってくるが、平時に戻るまでにはまだまだ時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝石]（経営者）	・米国大統領が交代し、今後は日本との駆け引きが始まるほか、米国と中国の関係にも左右される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが普及するまでは、販売側がどれだけ対策を講じて、感染への不安はぬぐえず、購買意欲も停滞したままとなる。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	・新型コロナウイルスの感染が収束するとは思えないため、引き続き医療関連商品の売行きは良くなる。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せないなか、特に繁華街への来街については、慎重な状況が続くと考えざるを得ない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・営業の時短要請については、緊急事態宣言中は補助金などが出るのが、解除後は補助がない。また、客足が戻るまでには時間が掛かるため、閉店せざるを得ない店舗が増えそうである。解除後に急に警戒心がなくなったり、ワークスタイルが変わるわけではないため、2～3か月後に景気が良くなるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店員）	・時短営業のため、来客数、売上共に減少している。今後、時短営業が解消されても、新型コロナウイルスの感染が続く限り、今と同様に来客数は減少する。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・全く先のみえない戦いである。落ち着きどころがみえず、新型コロナウイルスの感染者数に全てが一喜一憂している。ワクチンの接種で状況が変わらなければ、厳しさは更に増すと予想される。

<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・緊急事態宣言が解除されても、しばらく宿泊需要が戻るとは考えられないため、今後2～3か月は全く期待がもてない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・先の見通しが全く立たない。手を打てば打つほど、痛手が大きくなる。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（販売促進担当）	・2月初旬に緊急事態宣言が解除されるか、延長されるかで、多少は影響が変わる。ただし、前年の夏頃からの流れをみると、解除されてもすぐに客は戻らない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・緊急事態宣言がいつ解除されるか、感染がいつ抑えられるかが今後の焦点となるが、急激に回復するとは、到底考えられない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・少し暖かくなれば良くなると回答したいところだが、実態は変わらない。新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の認可や運用のみが、この状況を救う唯一の方法であり、その見込みが立つまでは変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が減らない限り、良くならない。早く収束してほしい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・携帯電話の販売が、完全にインターネット経由の低価格プランに移行すると、更に来客数が減る。
<input type="checkbox"/>	観光名所（経理担当）	・新型コロナウイルスがインフルエンザなどと同じ感染傾向をたどるとすれば、3月末頃には感染の拡大傾向は収まると予想される。ただし、新型コロナウイルスのワクチン接種は優先度の高い医療従事者や高齢者止まりで、病院の空き状況が改善するまでには至らないと予想している。
<input type="checkbox"/>	観光名所（企画担当）	・テレビなどでは、繁華街での人出が増加したと報じられているが、集客施設にはほとんど来なくなっている。緊急事態宣言の延長も考えられ、全く先がみえない状況である。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波によって業績が急減速し、緊急事態宣言の発令で更に悪化した。感染状況が改善しない限り、回復は見込めないため、雇用を維持しながら損失を抑えることに注力するしかない。ただし、既存の事業は移動や密集を前提とした業態であるため、新型コロナウイルス禍と共存する方法を見いだすことは容易ではなく、先行きは極めて不透明である。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・新型コロナウイルスによる外出の自粛要請などで、電話投票とインターネット投票の会員数が急激に増えたこともあり、売上は全国的に伸びている。しばらくはこの状態で高止まりすると予想されるが、いつまで続くかは読めない。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	・これだけ新型コロナウイルスの感染が広がり、日常の行動が制限されるなかで、従来どおりのイベントの開催は難しい。この最悪の状況がいつまで続くのか予想できないなかでは、最悪の状況が続くと考えて行動するしかない。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・大阪では緊急事態宣言が再発令され、2月はコンサート、3月からはプロ野球のオープン戦や公式戦が予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では、中止や無観客となる可能性がある。今のところ、3か月後の状況は不透明なため、現状と変わらないと予想している。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、まだまだ安心して外に出歩く心境にはなれない。
<input type="checkbox"/>	美容室（店員）	・予約状況は安定している。
<input type="checkbox"/>	その他サービス [学習塾]（スタッフ）	・例年以上に退会者やオンライン受講の希望者が多く、保護者の不安が感じられるため、しばらくは様子見が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・マンションディベロッパー各社は事業用地の取得目標が達成できていないため、年度末に向けて、開発用地の取得競争が激しくなる。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染収束につながるワクチン接種が進まなければ、現状維持が精一杯となる。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店 [時計]（経営者）	・2～3か月先に緊急事態宣言がどうなっているのか、日常生活が取り戻しているのが大きな鍵になる。ただし、新型コロナウイルスによって生まれた不公平感や格差は、気持ちの上でもなかなか埋まらないため、先行きを楽観視することはできない。

▲	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの影響下、株高傾向で宝飾品や輸入ブランド、食料品は安定的な売上が期待されるものの、一般衣料品の購買は、更にインターネット通販にシフトすると予想される。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染は、しばらく収まらないと予想される。倒産や廃業、失業者が今後も増えるため、生活防衛に走る消費者は今後更に増えそうである。
▲	スーパー（店長）	・職を失う人が増えてくると予想され、今後も節約の動きが加速する。
▲	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス関連の需要が更に落ち着き、巣籠り需要も減少することが予想される。
▲	スーパー（企画担当）	・前年度は新型コロナウイルス感染の影響もあって、売上が大きく伸びた年であった。ただし、前年を上回る既存店舗の営業実績も、実際には厳しい状況にあるため、改装や新規出店を行うことで全体の底上げを図る。
▲	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況、緊急事態宣言の延長といった不透明な要素が多いほか、所得の減少や倒産の増加などにより、景気の悪化が懸念される。一定の感染状況が続くという前提に立てば、悪い材料の方が多い。
▲	スーパー（販売促進担当）	・緊急事態宣言の延長もあり、しばらくは巣籠り需要が続くと予測している。ただし、新型コロナウイルス禍が明けたとしても、体力が減っている企業も多く、経済活性化には時間を要すると考えられる。
▲	スーパー（開発担当）	・緊急事態宣言による飲食店の営業の時短要請もあり、人出が減っている。解除されるまでは良くならない。
▲	スーパー（社員）	・新型コロナウイルス禍が再び拡大、長期化するなか、今後は収入が減少した世帯を中心に、内食疲れのような動きが起こることを危惧している。
▲	コンビニ（店長）	・失業率も上昇しているなかで、売上と利益が増えるという予測は立てにくい。
▲	衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言が1か月延長される方向で調整中であることから、底ばいの動きが続くと予想される。
▲	衣料品専門店（営業・販売担当）	・来客数が増加しない限り、売上の増加は見込めない。
▲	家電量販店（店員）	・在宅特需が落ち着けば、家電を購入する動きは減少してくる。基本的には故障がない限り、購買力の低下は避けられないと予想している。
▲	家電量販店（店員）	・今後、学生や就職のための新生活需要も期待されるが、新型コロナウイルスの影響がどれほど出るかで、売上も左右されると予想される。
▲	家電量販店（営業担当）	・緊急事態宣言が2月7日で解除されるとは思えない。
▲	家電量販店（人事担当）	・進学や就職も地元志向がやや高まっており、新生活に必要な製品の売行きが鈍い。
▲	乗用車販売店（経営者）	・緊急事態宣言の発出により、経済活動が制限されている。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でメーカーから新車が入荷されず、交換部品の調達にも影響が出てきている。来客数も減少している。
▲	乗用車販売店（経営者）	・緊急事態宣言の発令による営業の時短要請もあり、街に活気がなくなっている。飲食関係以外の業種も、持続化給付金が打ち切られると、存続できない企業が出てくる。まだまだ感染収束の糸口も見当たらないため、景気は悪くなると予想される。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・1回目の緊急事態宣言によるダメージも出てくる頃である。
▲	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・マスクを着用している効果で、今冬は余り医薬品が動いていないため、売上は厳しい。今後は通常の生活に戻ったとしても、個人の収入が減っているため、経済が活性化するにはかなりの時間が必要になる。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・緊急事態宣言の延長による悪影響の長期化で、現在よりも景気は悪化すると予想される。
▲	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・大企業のテレワークやホテルの休業などで、完全に人の動きが止まっている。自販機はただの箱になっており、回復は見込めない。

▲	観光型旅館（経営者）	・今後も社会の雰囲気は左右される。Go To Travel キャンペーンの再開なくしては、景気は良くならない。新型コロナウイルスとインフルエンザ関連の超過死亡数の比較を発信するなど、新型コロナウイルスはもう怖くないという冷静な判断のもとで、景気回復を期待したい。
▲	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少する兆しは、今のところは全くみえない。
▲	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の防止に向けて、ワクチンの接種が課題となる。今後は新型コロナウイルスを制し、経済を回すことが急務であるが、東京オリンピックの開催は現時点で不透明である。
▲	タクシー運転手	・企業関係のハイヤー予約が全てゼロであり、予約後のキャンセルも続出している。
▲	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で消費が低迷する。
▲	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか分からず、先が読めないものの、今の状態が6月頃までは続くと思われる。
▲	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染第3波が到来しているなかで、今の状況から判断すると、今後も大きくは変わらない。ただし、感染第3波の収束がみえない状況から、仮に緊急事態宣言が延長されれば、悪化する可能性は多分にある。新型コロナウイルスのワクチン接種が、早ければ2月下旬頃から始まるため、感染が収束に向かうことを期待したい。
▲	住宅販売会社（経営者）	・今後は社会全体、当地域共に、雇用者数の減少が見込まれる。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・企業の倒産や労働者の解雇が増加すると予想される。
▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・住宅展示場の場合は、来場者数が契約数とは比例しないものの、不要不急の外出は避けるという意識があるため、今後も展示場への来場者数の増加は見込めない。
▲	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種で好転すれば良いが、今の政府の姿勢では、恐らく一般市民が接種するスケジュールも遅れるため、今年も厳しい状況が続くと予想される。
×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・東京オリンピックの中止が懸念される。
×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないことには、以前のような通常の販売は成り立たない。ただでさえ販売量は年々落ち込むなか、新型コロナウイルスの感染収束の出口は全くみえない。今後はとてもではないが楽観視できない。
×	一般小売店〔野菜〕（店長）	・今後3～4か月で状況が良くなるとは思えない。新型コロナウイルスのワクチン接種もすぐに効果が出ると思えず、東京オリンピックの開催も含めて先行き不透明である。当店もいよいよ閉めようかと考えている。
×	一般小売店〔花〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響を筆頭に、先行きのみえない状況である。
×	一般小売店〔呉服〕（店員）	・呉服については、継続的に購入がみられるときはよいが、少し動きが止まると、必需品ではないため購入されない。
×	百貨店（売場主任）	・昨春は特別定額給付金などの効果で、巣籠り需要が伸びる傾向にあった。今回は長引く新型コロナウイルスの影響で、実収入やマインドにも影響が出ており、財布のひもが非常に固くなってきたことが実感される。
×	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、まだ現在の傾向は続く。特に、百貨店の主力販売商品であるアパレルはかなり厳しい。取引先からの撤退の申入れも増えることが予想され、今までのような商品構成での販売はできなくなる。
×	百貨店（宣伝担当）	・数か月では感染状況が劇的に改善するとは思えない。取引先が生産や買い付けを絞るなど、春夏商材の入荷に影響が出始めており、厳しい状態が続くと予想している。
×	スーパー（経営者）	・緊急事態宣言で観光業や飲食業が休業となっており、そこで働く人たちの消費も落ち込んでいるように感じる。
×	コンビニ（経営者）	・経営困難な企業も今は資金の借入れができてはいるが、どの程度の収支で事業が継続できるのか、かなり厳しい状況にある。新型コロナウイルス禍で売上が伸びている企業はあるが、その割合はごく一部であると感じる。

	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染収束を期待して、何とか頑張ってきたが、客からは、長過ぎてもう耐えられないといった話を毎日のように聞く。当店も、単価や来客数に影響を受けそうな予感がある。
	×	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着く見込みが全く立たないため、生活困窮者が増えていく。支出を必要最低限に抑えて生活する人が増えれば、コンビニは厳しい状況になることが予想される。
	×	衣料品専門店（経営者）	・婦人服店であるが、緊急事態宣言を出すのであれば、休業要請を出してもらえると家賃の負担だけで済むが、そうでなければ人件費などの負担が増えるだけである。緊急事態宣言以降、売上がゼロの日が何日も続いている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言が、2月7日に予定どおり解除され、客足が戻るとは考えにくい。それでも秋冬物のクリアランスセールを仕掛けざるを得ない。とにかく、緊急事態宣言が早く全面解除となることを祈るばかりである。
	×	住関連専門店（店長）	・インテリア業界では、数か月や1年前から計画を立てる客が多いが、新規客が増えるはずの時期に減少している。新型コロナウイルスで不安な時期のため、計画自体を先延ばしするなど、消費者の慎重な姿勢がうかがえる。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが完成するまでは、先が見通せない。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・商店街はこれから先、シャッター通りになっていく。
	×	一般レストラン（経営者）	・補助金の支給がない職業は厳しい。新型コロナウイルスの感染が収束するまでに、閉店がこれからも増えると予想される。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・緊急事態宣言の影響で、来客数がかなり減っている。営業の時短要請もあり、他の飲食店も困窮している。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店は激減している。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染対策は万全であるが、緊急事態宣言によって一部休業せざるを得なくなった。ランチ需要は高まっているものの、5名以上の宴会や会食が受注できない。会議も順調に受注できているが、売上は伸びず、宿泊需要も弱まっているなど、見通しが立たない。
	×	旅行代理店（役員）	・旅館やホテルの休業、航空機の減便、列車の運休などで人の移動が激減している。また、Go To Travelキャンペーンの再開も、直前まではっきりしないため、客も動きにくい状況にある。
	×	テーマパーク（職員）	・2月7日までの緊急事態宣言が延長されるかどうかにもよるが、一度冷え切った外出意欲に再び火をつけるのは、とにかく大変である。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で非常に暇である。高齢者は外出を控えるべきだと、政府が言い過ぎており、美容室は完全に暇となっている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せない状況で、徐々に消費は落ち込んでいく。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・前年の10月頃から新規事業を手掛けている。訪問営業やサンプルの提供で評価を依頼したところ、商品としては非常に可能性がありそうである。今後は日本で独自の市場を早期に立ち上げ、商品を定着させたい。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスに有効な製品が効果を発揮することを信じて、良くなることを期待したいが、1人でも社内で感染者が出れば、期待もしぼんでしまう。
	○	輸送用機械器具製造業（役員）	・新規搬送コンベアに対する、見積りなどの引き合いの増加傾向が続いている。特に、自動車部品関係の会社の動きが増えている。
	○	広告代理店（営業担当）	・緊急事態宣言が春に解除され、Go To Travelキャンペーンも再開してくれば、回復が進む見込みも高まる。ただし、全ては今後の新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	□	食料品製造業（営業担当）	・今後は、新型コロナウイルスの感染拡大と収束が繰り返す形となる。その都度、環境の変化に迅速に対応するのは難しい。

□	繊維工業（団体職員）	・とにかく新型コロナウイルスの影響が大きいので、1日も早く収束することを願っている。
□	繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くなかで、先の状況を判断するのは非常に難しいものの、現在の緊急事態宣言が大きな効果をもたらすとは考えにくい。
□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・先の見通しが立たない。
□	化学工業（経営者）	・今後3か月間では、一般の人に対する新型コロナウイルスのワクチン接種もまだ始まらないため、良くなる要素は見当たらない。一方、政府の施策によって取引先の倒産も発生していないため、しばらくは現在の状態が続くと予想される。
□	化学工業（企画担当）	・年末は巣籠り消費の影響もあり、一時的に需要が回復したが、今後数か月は例年でも需要が低迷する時期となる。また、新型コロナウイルスの感染収束時期も読めない。
□	プラスチック製品製造業（経営者）	・緊急事態宣言のなか、大きなプロジェクトは延期になっている。3月の期末以降、4月の受注は落ち着いているが、緊急事態宣言が終了すれば景気は上向くと予想される。
□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・受注量や販売量が減少してきており、景気動向は下向きである。しばらくはこの状況が続くと予想されるが、一部地域で緊急事態宣言が解除される可能性もあり、現状より更に悪化することはない。全体としては変わらないと予想される。
□	金属製品製造業（経営者）	・自動車関連では半導体不足による減産の噂はあるが、3月末までは現状維持の状態が続くと予想される。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・この超不況の状態は、まだまだ続くと予想される。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注や引き合いが増えてこないため、2～3か月先の売上は減少する。
□	電気機械器具製造業（経理担当）	・事業の特徴として、部品の発注が2か月程度先行するため、内示のあるケースも多いが、そのような心配が全くない。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言前と比べても、販売に大きな影響が出ていないため、仮に今の状況が続いたとしても、業況は変わらないと予想される。
□	建設業（経営者）	・現状は厳しくても、体力のある企業は新型コロナウイルスの感染収束後を見据えて、今必要な計画を粛々と進めている。延期してもよい計画は凍結、延期するなど、明確な方針のもとで計画を進めている。
□	輸送業（営業担当）	・電子部品や金属関連の工場で、出荷量がかなり減っている。材料の入荷も減っているため、今後は更に減りそうである。
□	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、人の動きが悪い。感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除となれば、人の動きが戻り、状況は回復すると予想される。
□	広告代理店（営業担当）	・前年以降、Web媒体、紙媒体共に、広告売上は前年の水準を下回り続けている。
□	司法書士	・新型コロナウイルスの感染者数が高止まりするなか、ワクチンの効果が出るのはまだまだ先となるため、2～3か月後はまだ厳しい状況が続く。
□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まることで、最悪の状態を脱することができるかと予想される。ただし、依然として若年層を中心に感染は止まらず、新型コロナウイルスとの共存生活が続きそうである。
□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・通常商品の動きはあるが、新たな注文は入ってこない。
□	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・消費マインドの変化に左右されるが、当面は社会情勢にあわせて、かなり厳しい状況が続くと予想される。
□	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、新型コロナウイルスの感染が収束するわけでもなく、急に回復することはない。また、ワクチンを接種できたとしても、元どおりになるまでにはかなりの時間を要する。
▲	食料品製造業（従業員）	・例年であれば、春は展示会などで新製品をアピールできるが、そういった機会も失われている。訪問もできず、商談もできない状況が続いているため、なかなか前に進まない状況が続く。
▲	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・2回目の緊急事態宣言の影響で、想定していた回復時期が遅れるため、もうしばらくは我慢の時期が続く。

	▲	化学工業（管理担当）	・半導体不足で自動車の生産が減少すれば、当社の出荷量も減少する可能性が高い。
	▲	金属製品製造業（営業担当）	・建築関連は引き続き厳しい状況が続くと予想される。一方、自動車関連も4月以降は不透明感が増している。
	▲	一般機械器具製造業（設計担当）	・日本全体として、経済がうまく回りそうにない。
	▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・緊急事態宣言の発令後も、依然として新型コロナウイルスの感染収束の見込みは立たず、先のみえない苦しい状態が続いている。
	▲	建設業（経営者）	・緊急事態宣言が出ているため、役所協議の遅れなどで着工が伸びる可能性がある。緊急事態宣言が延長されると、更に影響が出る可能性もある。
	▲	建設業（経営者）	・春になって新型コロナウイルスの感染が一段落しても、外出自粛の影響によって沈滞ムードが続くことが懸念される。
	▲	輸送業（商品管理担当）	・1～2月は例年売上が減少するが、今年は酒の配達がほとんどなく、売上が減少している。今後2～3か月も同じ状況が続く。
	▲	輸送業（営業担当）	・家具部門は何とか利益が出ているが、飲料部門は酒店からの卸売の注文がほぼない状況であり、全体としてはマイナスが続いている。この状況が続けば、会社の存続も厳しくなる。
	▲	金融業（副支店長）	・緊急事態宣言の解除時期の遅れが予想され、飲食店を中心に、景気の回復はなかなか見込めそうにない。消費者が巣籠りを余儀なくされる状況は、当面続きそうである。
	▲	新聞販売店〔広告〕（店主）	・緊急事態宣言の発令により、折込収入が悪化している。
	▲	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で、悪い状況が続いている。
	×	繊維工業（総務担当）	・消費者向け催事は、密集を避ける動きから集客が減少しているほか、規制地域からの参加を控えてほしいといった声も出ている。
	×	通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で雇用情勢が悪化し、解雇が増える。
	×	不動産業（営業担当）	・緊急事態宣言が延長されると予想されるため、景気はますます悪くなる。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響が全てである。緊急事態宣言が出ているが、感染者数は増加の一途であり、回復の見通しが立たない。政府もこれといった対策を打っておらず、お願いの一辺倒であるなど、頼りにならない。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が全てである。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスへの対応が、科学的、現実的な内容に変化することを期待している。
	○	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・緊急事態宣言の解除は、予定されている2月7日から延長される可能性があるものの、2～3か月先には解除される。企業活動の平時への移行による活発化に伴い、幅広い業種で求人が戻り、景気は回復へと向かうと予想される。ただし、このタイミングで東京オリンピックの中止が決まれば、株価の下落や景気に対するマインドが一気に下がり、景気が下向き可能性がある。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が一定数に落ち着くまで、緊急事態宣言は延長される。ワクチンの接種によって、感染者数の拡大が早く抑えられることを期待したい。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・休業や派遣契約の終了など、大きな影響を受けた時期は既に終わっており、一旦縮小した業績の中で進んでいく。企業各社による対応は、一時的には落ち着いた印象がある。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・東京オリンピックが開催されたとしても、景気浮揚の起爆剤にはなりそうになく、2～3か月後に現在の状況が好転しているとは思えない。ただし、これ以上悪くなることもない。
	□	職業安定所（職員）	・自動車関連の製造は求人改善が見受けられるが、卸売や小売、飲食、宿泊業の求人が抑制されているため、景気全体としては変わらない。

□	民間職業紹介機関（職員）	・緊急事態宣言後は、大手企業の建設現場を中心に、現場の入場規制や工事の延期などが行われているため、下請事業所からの求人が減少している。新型コロナウイルスの感染抑制につながるワクチンの接種や、効果的な治療薬の開発が行われるまでは、以前のような求人数の回復は見込めない。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・引き続き、新型コロナウイルス関係の求人の特需があると予想される。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・ここ数か月で大きく変わることはないが、3月の新卒採用情報の解禁に向けて、今ちょうど企業の動きが加速している。就活イベントの出展依頼が増える時期ではあるが、オンライン化や規模の縮小により、前年に比べて出展枠の少ない点が、就職情報会社の課題となっている。
▲	人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束次第であり、ワクチンの接種がいつになるかに左右される。新年度を迎えても、すぐに右肩上がりとなることはなさそうである。
▲	人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染次第であるが、4月は一旦落ち込むと予想される。
▲	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言が解除される見通しが立たないため、かなり厳しい状況が続く。
▲	職業安定所（職員）	・新規求人数が減少傾向となるなど、企業の採用意欲が低下している。求職者も雇用保険の個別延長給付が終了しても、新型コロナウイルスへの懸念から就職活動に消極的になっており、雇用環境の改善の兆しが感じられない。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の推移や、ワクチン接種の動きが不透明である。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響で、まだまだ先が見通せないため、期末の動きは悪くなる。
×	職業安定所（職員）	・大阪では、雇用調整助成金の相談件数が12月よりも増加した。緊急事態宣言の前後から、ハローワークの窓口には、飲食店を中心とした事業主からの相談が増えている。
×	学校〔大学〕（就職担当）	・求人数の推移や、新型コロナウイルスの影響を伝えるニュースの動向などから、ますます厳しくなると予想される。